

地球観測連携拠点(温暖化分野)
平成19年度国内ワークショップ

統合された地球温暖化観測を目指して

—観測の長期継続と分野間・機関間連携の視点から—

主催 地球温暖化観測推進事務局／環境省・気象庁
後援 内閣府(予定)、文部科学省、
(独)国立環境研究所地球環境研究センター

10月4日(木)

13:15~17:35

入場無料

主に炭素循環に係わる地球温暖化観測の連携を深め強化するために、観測の長期継続と分野間・機関間連携の視点から、関係者の皆様による講演とパネルディスカッションを行います。

1. 長期観測の実現(機関間連携の推進)

住明正(東京大学)、中澤高清(東北大学)、堤之智(気象庁)

2. 陸域生態系と炭素循環(分野間連携の推進)

中静透(東北大学)、山本晋(岡山大学)

3. データ標準化及びデータ流通の促進

野尻幸宏(国立環境研究所)、松枝秀和(気象研究所)、渡辺一樹(海上保安庁)

パネルディスカッション

「分野間連携の推進

—陸域生態系と炭素循環—

沖大幹(東京大学)、日浦勉(北海道大学)、三枝信子(産業技術総合研究所)、中静透(東北大学)、山本晋(岡山大学)

お問合せ先
地球温暖化観測推進事務局／環境省・気象庁(0CCCC)
<http://occo.nies.go.jp/index.html>
TEL:029-850-2980 FAX:029-858-2645
E-mail: occo@nies.go.jp

会場 KDDIホール

KDDI大手町ビル2F



交通: 地下鉄大手町駅をご利用の場合

C1出口よりビル直結

A3出口より徒歩1分

JR線東京駅ご利用の場合は徒歩10分

参加申し込み

下記アドレスにお名前、ご所属、メールアドレスを明記の上、お送り下さい。

E-mail: occo-ws07@nies.go.jp

(ホームページからも

申し込み出来ます。

<http://occo.nies.go.jp/071004sympo/index.html>)



プログラム

司会 藤谷 徳之助（地球温暖化観測推進事務局長）

13:15-13:30 挨拶（環境省、気象庁）

13:30-15:10 1. 長期観測の実現（機関間連携の推進）

①「人類の資産としての地球観測」（25分）

住 明正（東京大学サステナビリティ学連携研究機構 地球持続戦略イニシアティブ
統括ディレクター・教授）

②「温室効果ガスの長期研究観測」（20分）

中澤 高清（東北大学大気海洋変動観測研究センター長・教授）

③「WMO 全球大気監視（GAW）新戦略計画と気象庁における温室効果ガスの長期業務観測」（15分）

堤 之智（気象庁地球環境・海洋部環境気象管理官付・全球大気監視調整官）

2. 陸域生態系と炭素循環（分野間連携の推進）

①「陸域生態観測の現状と展望」（20分）

中静 透（東北大学大学院生命科学研究科教授）

②「陸域生態系炭素収支観測における連携の現状と展望」（20分）

山本 晋（岡山大学大学院環境学研究科教授）

15:10-15:20 休憩

15:20-16:05 3. データ標準化及びデータ流通の促進

①「海洋二酸化炭素観測データの標準化と精度管理」（15分）

野尻 幸宏（国立環境研究所地球環境研究センター副センター長）

②「大気観測データの標準化」（15分）

松枝 秀和（気象庁気象研究所地球化学研究部室長）

③「海洋観測データベースと流通」（15分）

渡辺 一樹（海上保安庁海洋情報部海洋情報課・課長補佐）

16:10-17:30 パネルディスカッション「分野間連携の推進－陸域生態系と炭素循環－」

コメンテーターからの問題提起

① 沖 大幹（東京大学生産技術研究所教授）

「海外現地観測を軸とした分野横断的共同研究」（15分）

② 日浦 勉（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター教授）

「日本長期生態学研究ネットワーク（JaLTER）の可能性」（10分）

③ 三枝 信子（産業技術総合研究所大気環境評価研究グループ主任研究員）

「アジア陸域における熱・水・二酸化炭素フラックス観測ネットワーク」（10分）

「討論」（45分）

司会：藤谷 徳之助（地球温暖化観測推進事務局長）

パネラー

・中静 透（東北大学大学院生命科学研究科教授）

・山本 晋（岡山大学大学院環境学研究科教授）

・日浦 勉（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター教授）

・三枝 信子（産業技術総合研究所大気環境評価研究グループ主任研究員）

・沖 大幹（東京大学生産技術研究所教授）

17:30-17:35 挨拶（内閣府）